

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	自動車旅客運送のバリアフリー化の推進		担当部局庁	自動車局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度 / 平成22年度		担当課室	旅客課	課長 船曳 義郎		
会計区分	一般会計		施策名	2(3)総合的なバリアフリー化の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	移動円滑化の促進に関する基本方針 (平成18年12月15日告示)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本格的な高齢社会の到来等を契機とし、国土交通省では、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえた施策を推進している。高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して円滑に移動できるよう、ノンステップバスの導入等、公共交通機関の利便性の向上を図る施策を推進し、誰もが円滑に公共交通サービスを利用できるよう総合的に取り組むことで、公共交通に係るユニバーサルデザイン施策の実現を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	公共交通移動円滑化設備整備費補助金交付要綱に従い、補助対象事業費の一部について補助金として支援を行っている。ノンステップバスの導入については、乗合バス事業者等にノンステップバスの価格と通常車両価格の差額の1/2を限度として、地方公共団体と協調補助を行っている。						
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	1,423	780	769	-	-
		繰越し等	200	503	-	-	-
		計	-	-	-	39	-
	執行額	1,622	1,283	769	39	-	
	執行率(%)	1,496	1,190	699			
92.2%	92.8%	90.8%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (27年度)
	ノンステップバス車両の導入数及び導入割合		成果実績 数	13,822	15,298	集計中	28,381
			達成度 %	23	25.8	集計中	57
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	ノンステップバスの補助車両数		活動実績 (当初見込み) 数	1,102	911	610	() ()
単位当たりコスト	1,145(千円/数)		算出根拠	698,709千円(平成22年度執行額) / 610(平成22年度補助車両数)			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	計	-	-				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】</p> <p>昨年の「予算監視・効率化チームの所見」において、「一部改善（補助要件の見直し等）」とされたことを踏まえ、より効果的な支援策に抜本的に見直すこととするため、本事業は平成22年度限りで廃止した。</p>		
廃止	<p>平成22年度行政事業レビュー結果を踏まえ、事業廃止とする。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

国土交通省
699百万円

〔 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して円滑に移動できるよう、補助対象事業費の一部について、地方公共団体と協調補助を行っている。 〕



〔補助・公募〕

A. 乗合バス事業者等
(66者)
699百万円

〔 ノンステップバスの導入等、公共交通機関の利便性の向上を図る施策を推進している。 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.名古屋市交通局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
車両購入費	ノンステップバス導入による費用の一部	107			
計		107	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	名古屋市交通局	ノンステップバス導入	107		
2	神奈川中央交通(株)	ノンステップバス導入	48		
3	京王電鉄バス(株)	ノンステップバス導入	34		
4	東武バス(株)	ノンステップバス導入	34		
5	神戸市交通局	ノンステップバス導入	29		
6	小田急バス(株)	ノンステップバス導入	29		
7	川崎市交通局	ノンステップバス導入	27		
8	大阪市交通局	ノンステップバス導入	25		
9	関東自動車(株)	ノンステップバス導入	23		
10	国際興業(株)	ノンステップバス導入	22		